同級生２３期　山本悦郎くんの訃報に接して

２３期常任幹事　畑地　豊

厳寒の候　既報のこと、このたび２３期/山本悦郎くんがご逝去されました。多くの同窓生からお悔やみの言葉を頂きました。これを供養として紹介させて頂きたいと存じます。

彼の生年月日	１９４３年４月２２日
出　身　地	鳥取県
命　　日	２０２０年９月８日（７７歳）
消 息 判 明	２０２０年１２月１４日
横　　顔	卒業後も「ポンコツ会」のリーダー的存在で、常にみんなを牽引して、活発な会の集いや友情の育みが５５年近く続いてきました。今も続いています！

撮影　2019年12月2日

綿谷　修　さん

綿谷でーす！　連絡有り難うございました。
亡くなられた月日を知りたいのですが、どうしたらいいのでしょうか？ 冥福を祈りたいと思います。
消息を知るために「畑地さんや、福島さん」が努めていただいたことに感謝します。本当に有り難うございました。
私たち、ポンコツ会のメンバーに連絡が取れない状態だったのでしょう…
「畑地さんや、福島さん」がご苦労なさって、知らせることができて、 彼もきっと草葉の陰でよろこび、二人に感謝しているような気がします。
キーボードを叩きながら目の奥が熱くなってきます。
冒頭の月日について解りましたら知らせて下さい。
再度、いろいろと有難うございました。今後ともよろしく…

荒木　康久　さん

山本君の訃報を知って

大山君から「悦ちゃんが亡くなったて、知っている？」電話がありました。エッ！一瞬驚きました。
その後、直ぐに畑地君より詳細なお電話いただきました。
ポンコツ会で長く幹事を務めて頂き有難うございました。

山本君とは同郷でした。ローカル線で２駅ほど離れた近い所でありましたが、就職した会社が異なっていましたので顔見知りになったのは高学年になってからと記憶しています。
話す機会は少なかったものの、同郷で大阪に出て働く環境は大なり小なり類似したものと何時も感じていました。山本君を見れば、何時も心で故郷を思っていました。
特に鮮明に残っている一つに、奨学金を得る試験で数学が飛び切り出来ていたのに驚嘆しました。私はダメでしたが山本君は選ばれていました。
彼氏は人の争いごとを好まず、でも政治的な信念はしっかりしていたと感じていました。
山本君の冥福を心からお祈りしたいと思います。
山本君、有難う！

堂本　敦子　さん

ご連絡ありがとうございます。悲しいご連絡で本当に残念でなりません。
先だって綿谷さんからお電話いただき、辛い現実をどう受け止めたらいいのか、今も信じられません。
皆さんのお力で山本さんに辿り着いてくださった事、感謝します。本当に本当に、ありがとうございました。
山本さんも、「来てくれたんだね待っていたよ」と言っている様な・・・
彼には、今までにどれだけのお世話をして下さった事かはかり知れません。
ご冥福をお祈り申し上げます。

私の今は急に様変わりしてしまいました。昨年は春と秋に手術をし、今年は主人が小脳の難病指定を受けました。そして今、急ではありましたがこの12月28日までのリホームをしています。家の中はクチャクチャです。
穏やかな歳を重ねていけるものと思っていましたのに中々そうは甘くないですね。
コロナで年越しそうですが早く収まってほしいですね。
ポンコツ会の皆さん穏やかにお過ごし出来ます様に。

福島　次郎　さん

私が北野に入学して卓球部に入部した時に
山本悦郎君を初めて見ました。
その時に話をした訳ではないのですが、何故か
彼がひときわ光っていたのを鮮明に覚えています。
３年生になって同じクラスになり山登り仲間として
親しくなりました。
山本君は５０年以上もの長きにわたりクラス会の幹事を務めてくれました。
２３期の中野先生のクラスメンバーが中心となってポンコツ会の
運営をしてきました。会の名前「ポンコツ」はポンコツになるまで！
との思いで命名したのです。が、今はメンバーも７５歳以上となり、
文字通りポンコツになったのです…
この５７年間会の運営を一手に引き受けてくれていたのが
山本悦郎君であり、メンバー全員が山本君を中心に動いてきました。
２年に一度は一泊旅行を計画し、実行してくれました。
中野先生（時折奥様も）を筆頭に２０名前後のメンバーで大いに
飲み語らったものです。
山本悦郎君なくしては５７年もの長きにわたる継続は出来なかったと思います。

山本君から「おれ、癌になって、しかもステージ４なんだ！」と聞いたのは2015年１月31日でした。箕面霊園にメンバーの畠山真人君の命日の墓参りの時で、聞いてショックを受けたのを思い出します。それから１年後に、彼から「癌が消えた」と聞いて安堵したのを覚えています。2016年8月には私の居る上村（長野県飯田市）まで有志７名と来てくれ、悦郎君も「しらびそ高原（2000ｍ）」での眺望を楽しんだり、夜には全員でカラオケを楽しんだことが思いだされます。

山本悦郎君のご冥福をお祈りします。